

森中 智己

Morinaka Tomoki



機械の構成や仕組み、プログラミングなどを学んでいます



大宮踊をPRする
Vチューバー(バーチャル
ユーチューバー)
大宮あをい



森中 智己さん(日名)

2004年生まれ。津山高専総合理工学科情報システム系4年生。システム研究部所属。マイブームはVRチャット。

真

MANIWA BITO

庭人

Vチューバー『大宮あをい』の制作メンバー

津山工業高等専門学校に通う森中智己さん。森中さんは、蒜山地域に伝わり昨年ユネスコ無形文化遺産に登録された『大宮踊』をPRするキャラクター『大宮あをい』を制作したメンバーの一人です。このプロジェクトは、市教育委員会が津山高専に制作を依頼し、2021年に開始。「僕は2年目からの参加でした。デザインなどは前年度に先輩たちが作っていて、動画を作ったのが僕たちです」と言います。参加した理由については、「もともとVチューバーが好きで、作る技術にも興味があったんです。それに、

真庭市出身なので、自分がやらずに誰がやるんだという思いで参加しました」と話します。

森中さんが担当したのは、『踊ってみた』の動画。「歩くモーシヨンの作り方から勉強して、じゃあ踊りにこう応用しようとか考えながら制作しました。大宮踊保存会の方に高専に来ていただいてモーシヨンデータを取ったり、蒜山郷土博物館や福田神社に実際に行ってみたりもしました」と制作の様子を教えてくださいました。

みんなに愛されるキャラクターに

制作中は、自分たちが作ったものがちゃんと受け入れられるのか不安だったそう。しかし、

公開後すぐにSNSでファンアートが描かれていたのを見て、「すごく嬉しかったですね。自分たちが作り上げたものが認められた感じで。大変でしたけど、苦労が報われました」と言います。大宮あをいのこれからについて尋ねると、「これから、もっと愛されるキャラになつてほしいです。いろんな人にファンアートとか書いてほしいし、盛り上げてほしいですね」と素敵な笑顔で話してくれました。

大宮あをいの動画
(真庭市公式YouTubeチャンネル)▶



まにわびと
45

2023